01

どこよりも早く こわ～いところに行ってきました。

Quunも昨年の5月に創刊し、おかげさまで次号（13号）でめでたく1周年を迎えることになります。これも読者の皆さまあってのもの。深く感謝しています。そこで12号では、創刊以来、話に出ては「そのうちね♪」と後送りにされてきた『禁断の企画』を決行することにしました。

Illustration / koji Nonoyama　Design / Hanzo design

Quunも今回が12回目。

毎月お届けしてきたメイン特集も、様々なことをやりました。仕事、感動、ノスタルジー、オトす女（恋愛）、たこ焼き!?、結婚、クリスマス、占い、キス（恋愛）、写真、愛される女（世渡り）…。成功した企画もあれば、スベった企画もあり。また、企画の数だけドラマがありました。某号では、誌面に登場してくれた男女が、本物のカップルになってしまった！ なんてこともありました。

『あの企画』をやりましょうか！

遊びゴコロと共感をテーマに、毎月、頭を悩ませていたメイン特集。次号の1周年記念号を前にして、いよいよネタに困ってしまいました…。迫る締め切り、焦る編集スタッフたち…。そんなスタッフを眺めながら、決めました。こうなったら、何度も話に出ては見送ってきた幻の企画『こわ～い特集』を、自分がやってやろうじゃないの。たとえ、それが時期はずれでも！

幸いなことに、編集部デスクには先週入社したばかりの新人スタッフ（まだ名前なし）がいるではありませんか。

よし！ 行こうじゃないか、新人くん。

ひとりじゃ恐いけど、キミとなら大丈夫。心配しなくてもいいよ。ちゃんと骨は拾ってあげるからね（w）

ちょっと待ってくださいよ…。編集長が私の方を向いてニヤリと笑ったかと思ったら、突然「いっしょに行こうか？ 恐いところ♪」って優しい声で…。今のタイミングじゃ、断れるわけないじゃないですか。まだ名前も決まっていないのに、何させるんですか、この編集部（*_*）。『こわ～いところ』って、よっぽどココの方が恐い場所ですよ、まったく…。

ともかく、まずは西三河の心霊スポットをリストアップしなきゃ。試しにネットで探してみると、・・・・出てきましたよ、こわ～い場所が次々と…。聞いたことのある名前もありますねぇ。

ん？ （O_o） WAO!!! これって、前にテレビでやってたところじゃないっすか!! こういう場所は行くところじゃなくて、テレビや雑誌で見るものじゃないの？ っていうか、私は編集部員になったのか…。

……まぁ、いいですよ。私は霊感なんてありませんから。むしろ、怖がって腰を抜かす編集長の姿を激写してやろうじゃないの。そこで貸しを作って、あとで美味しいものいっぱいオゴらせてやるぞぉ！

・・・・ちょっと空しい…。

ご苦労さま。恐そうな場所って、探せばいろいろあるもんだね。天気悪そうだけど、時間ないから、明日行こう。

今回はカメラマンがいないからふたりっきりだ。持っていくものは傘とデジカメ、清めの塩と数珠、あと「Quunのぼり」もね。場所は… 洞窟とトンネルとホテルにするか。現地に行って、キューンののぼりを立てることにしよう。最後に時間があれば、ちゃんとお祓いもしてもらおうな。じゃあ、明日朝9時、編集部に集合。遅れるなよ！

えらくさわやかに語ってくれますよ、編集長さまは…。リストアップしたスポットは、どこも行きたくないんだけど、あなたのセレクト、結構キツい場所になってません？ 何より取材した後は、お祓いしてもらうに決まってるじゃないですか！ 場所探しにもたついていると、マズい…。急いで支度して、早く帰らなきゃ。

……それにしても、今日はスタッフの皆さん、心なしか優しい…。私はそんなに切羽つまっているでしょうか？

三河恐怖スポット

豊田市
岩屋観音堂の洞窟
大岩の奥が地獄に通じているらしい

豊田市
旧伊勢神トンネル
心霊スポットのメッカ。恐怖体験は盛りだくさん

岡崎市
ホテル●●
身体に霊障が起こるといわれる危険な場所

三好町
ブルーシャトー
有名な廃ラブホテル。女性の霊がいるらしい

豊橋市
首狩神社
名前の由来は諸説あり。通称で使われている

西尾市
白薔薇学園
資金難によって、完成前に廃虚になった学校

西加茂郡
藤岡病院
手術室や地下の霊安室など、見どころが多い

豊田市
六角堂
人形の髪が伸びたなど、様々な噂がある

（番外編）某社の●氏が深夜デイスイして出没する、某飲食店

恐怖のツアー　スタート!!

途中で見つけたネコバス風ラーメン屋さん。
こんな場所を巡るツアーにしたかった…

あのおっさん、遅れてきた!!「わりぃわりぃ」って、30分も待たせるなんて信じられません！ 酔い止めの薬を飲み、清めの塩をふり、数珠を握り緊張している私の横で、鼻歌まじりでナビに地点をセットしてます…。まだ入社して1週間だけど、この人への尊敬心が薄れていきそうで怖いんですけど…。天気も予報どおり悪いし、無事に編集部に戻ってくることができるのでしょうか？ ところで、メイン特集っていつもこんなにアバウトに作っているんですか？

うん、そうだよ。っていいたいところだけど「こういうときもある」ってこと。君の先輩のガーコなんて、気持ちいいくらいに完璧な段取りをするよ。きっちりと準備をしたら、安心して仕事に取りかかれるからね。だから、こんなのは例外。これから君が勉強していくのに、あまり役には立たないかもなぁ。

……。いきなり例外かよ!! こう見えても今回の取材では、大先輩からフリーペーパーや雑誌づくりのノウハウを学ぼうという気持ちでいたのに、なぜかいきなり「悪い見本」から勉強するということになっているんですね。

…分かりました。今日は、恐い場所で自分の根性を試すときだと思うことにしますよ。それにしても、存在が軽すぎる！ 編集部のある岡崎をスタートしてから、雨足はますます強くなっています。今の私の心境と同じです…。

道中、ラジオから流れたゴスペラーズの歌から、地元出身「サカイさん」のマニアックトークで盛り上がるも、目的地が近づくにつれ、テンションはみるみる下がっていきます。車が豊田市内を抜けて険しい道に入ると、まだお昼前だというのに薄暗いんですけど…。編集長、何かおもしろい話でもないんですか？

ん～？ おもしろい話？ 悪いけど、今のオレにはそんな余裕はない。一部では結構有名な話なんだけど、オレって車の運転ヘタなんだよね。だから、あまり話しかけない方がいいよ。天気も悪いし、山道って細いじゃん？ 心霊スポットより、この道を走っている方がよっぽど恐かったりしてね♪

それでも話して欲しかったら、とっておきのこばなしでもするけど？

首を振り、助手席で数珠をぐっと握りしめながら、改めて思います。おもしろくもなく、リアルに恐い運転手と、こわ～い場所に行く仕事をするなんて、ちょっと前まで想像することもできませんでした。もし生きて帰ってくることができたら、いつでも退職願を出せるように準備しておこう…。

現在は午前11時を少し過ぎたところ。上司の寝坊により30分遅れで出発した今回の「こわ～いところ」ツアーは、まもなく第一の目的地である「地獄への道」に到着します。